

事例 26 北海道産木材の高付加価値化に向けたシステム販売



(北海道森林管理局)

- 北海道 厚岸（あっけし）郡
厚岸町（あっけしちょう）
標茶（しべちゃ）国有林
- 高付加価値化に向けたシステム販売
により販売されるカラマツ大径材

北海道では、生産される丸太の約5割が製材用ですが、梱包材等の産業用資材等の用途が中心で、

付加価値の高い柱や梁等の構造用材の用途は少ない状況です。

こうした現状を踏まえ、北海道森林管理局では、付加価値の高い構造用材としての道産材利用を促進するため、令和元年度から一定の径級（24cm以上）と品質を確保した大径材のシステム販売を実施し、根釧西部森林管理署や網走西部森林管理署西紋別支署等でシステム販売の協定を締結して大径で良質な国有林材を販売しました。